



2024年5月1日発行

## 安全データシート (SDS : Safety Data Sheet)

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称、品番 : リビング建材補修液 (100ml) ブラック、LZZZZ057

供給者の会社名称 : 株式会社 LIXIL

住所 : 東京都品川区西品川一丁目1番1号

電話番号 : 0120-126-001

項目2以降は、2頁以降を参照

# 安全データシート

## 【混合物用（塗料用）】

作成日 2018年05月01日  
改定日 2024年03月06日

1. 製品及び会社情報  
整理番号:

2403LZKH0605

化学品（製品）の名称  
製品コード:

グレイズカラー 補修用 TXF ブラック LIX  
LZHTXFBLFUJ

製品の種類  
用途

: アルキッド樹脂塗料  
: 木工製品用、その他

供給者の会社名称  
住所  
担当部門  
担当者名  
連絡先

: 浜二ペイント株式会社  
: 静岡県浜松市中央区若林町2530  
: 技術部  
: 犬塚章示  
: 静岡県浜松市浜名区引佐町伊平530  
電話番号 053-544-1711 FAX番号 053-544-1713  
: 浜二ペイント株式会社 業務課 村上茂昭  
電話番号 053-454-4171 FAX番号 053-456-3319

緊急時連絡先

2. 危険有害性の要約  
GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体

区分2

健康に対する有害性

急性毒性（経口） 区分に該当しない  
急性毒性（経皮） 区分に該当しない  
急性毒性（吸入：気体） 区分に該当しない  
急性毒性（吸入：蒸気） 区分に該当しない  
急性毒性（吸入：粉塵・ミスト） 区分に該当しない  
皮膚腐食性・刺激性 区分に該当しない  
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分2  
呼吸器感作性 分類できない  
皮膚感作性 区分に該当しない  
生殖細胞変異原性 区分に該当しない  
発がん性 区分2  
生殖毒性 区分2  
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露） 区分3  
区分3 呼吸器への刺激のおそれ、眠気またはめまいのおそれ  
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露） 区分1  
区分1 長期ないし反復暴露による臓器（肺、血液）の障害  
誤えん有害性 分類できない

環境有害性

水生環境急性有害性 区分3  
水生環境慢性有害性 分類できない  
オゾン層への有害性 分類できない

GHSラベル要素  
絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

引火性の高い液体および蒸気  
強い眼刺激  
発がんのおそれの疑い  
生殖能力または胎児への悪影響のおそれの疑い  
呼吸器への刺激のおそれ、眠気またはめまいのおそれ  
長期または反復暴露による臓器の損傷  
水生生物に有害

注意書き

〈安全対策〉

容器を密閉しておくこと。  
熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。  
保護手袋および保護眼鏡／保護面を着用すること。  
容器および受器を接地すること。  
防爆型の電気機器／照明機器を使用すること。  
静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
火花を発生しない工具を使用すること。  
使用前に取扱説明書入手すること。  
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
必要に応じて個人用保護具を使用すること。  
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
取扱い後はよく手を洗うこと。  
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
(必要な時以外は)環境への放出を避けること。

〈救急措置〉

火災の場合には、消化に粉末・炭酸ガス・泡を使用すること。  
皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。  
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。  
取り扱った後、手を洗うこと。  
暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断／手当てを受けること。  
暴露した場合:医師に連絡すること。  
緊急の処置が必要な場合:特別処置が緊急に必要である。  
気分の悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。  
飲み込んだ場合:気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。  
皮膚に付着した場合:多量の水と石鹼で洗うこと。

〈保管〉

涼しい所／換気の良い場所で保管すること。  
施錠して保管すること。

〈廃棄〉

内容物／容器の廃棄は、国際／国／都道府県／市町村の規制に従うこと。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物製品  
成分、含有量、CAS No. :

成分名	CAS No	含有量	備考
酢酸ブチル	123-86-4	30 % ~ 35 %	
酢酸エチル	141-78-6	30 % ~ 35 %	
3-メチル-3-メトキシブチルアセテート	103429-90-9	10 % ~ 15 %	
メトキシブチルアセテート	4435-53-4	5 % ~ 10 %	
カーボンブラック	1333-86-4	0 % ~ 5 %	
セルロースナイトレート	9004-70-0	0 % ~ 5 %	
3-メチル-3-メトキシブチルアルコール	56539-66-3	0 % ~ 5 %	
ブチルベンジルリコールモノメチルエーテルアセテート	108-65-6	0 % ~ 5 %	
イソブチルアルコール	67-63-0	0 % ~ 5 %	

## 4. 応急措置

- 目に入った場合 :  
皮膚に付着した場合 :  
吸入した場合 :  
飲み込んだ場合 :
- 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。
  - 出来るだけ速く医師の診断を受ける。
  - 付着物を布にて素早く拭き取る。
  - 大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しない。
  - 外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受ける。
  - 蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行なう。
  - 嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の診断を受ける。
  - 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受ける。
  - 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受ける。
  - 嘔吐物は飲み込ませない。
  - 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

## 5. 火災時の措置

- 使用可能消火剤 : 炭酸ガス、泡、粉末  
消化方法 :
- 適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。
  - 可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
  - 指定の消火剤を使用する。
  - 高温にさらされる密封容器は水を掛けて冷却する。
  - 消化活動は風上より行なう。
  - 水を消火に用いてはならない。

## 6. 漏出時の措置

- :
- 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
  - 漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
  - 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をする。
  - 付近の着火源・高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。
  - 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
  - 衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
  - 乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。
  - 河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

## 7. 取扱い及び保管上の注

- 取扱い :  
保管 :
- 換気の良い場所で取り扱う。
  - 容器はその都度密栓する。
  - 静電気対策のための、装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用する。
  - 工具は火花防止型のものを使用する。
  - 使用済みウエス、スプレーダスト等は破棄するまで水に漬けておく。
  - 作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。
  - 周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
  - 密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業する。
  - 皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らぬように適切な保護具を着用する。
  - 過去に、アレルギー症状を経験している人は取り扱わないこと。
  - 日光の直射を避ける。
  - 通風のよいところに保管する。
  - 火気、熱源から遠ざけて保管する。

8. 暴露防止および保護措  
管理濃度、許容濃度

化学物質	管理濃度	許容濃度 ACGIH(TLV)
酢酸 <sup>フ</sup> チル	150ppm	150ppm
酢酸 <sup>エ</sup> チル	200ppm	400ppm
3-メチル-3-メトキシ <sup>フ</sup> チルアセテート		
メトキシ <sup>フ</sup> チルアセテート		
カーボ <sup>ソ</sup> ン <sup>ラ</sup> ック		
セルロースナイトレート		
3-メチル-3-メトキシ <sup>フ</sup> タノール		
<sup>フ</sup> ロピ <sup>レ</sup> ン <sup>グ</sup> リ <sup>コ</sup> ール <sup>モノ</sup> メ <sup>チ</sup> ル <sup>エ</sup> ー <sup>テ</sup> ル <sup>ア</sup> セ <sup>テ</sup> ート		
イソ <sup>ソ</sup> ロ <sup>ビ</sup> ル <sup>ア</sup> ル <sup>コ</sup> ール	200 ppm	200ppm

- 設備対策 :
- 取扱い設備は防爆型を使用する。
  - 排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。
  - 液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置についてはアースを取るように設備する。
  - 取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれられないような設備とする。
  - 屋内作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備とする。
  - タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付ける。

保護具

- 目の保護 :
- 取り扱いには保護メガネを着用する。
- 皮膚の保護 :
- 取り扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を付けること。また化学薬品が浸透しないような材質であることが望ましい。
  - 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
- 呼吸系の保護 :
- 状況に応じ、前掛け、長靴等。
  - 適切なマスクを使用する。

9. 物理／化学的性質

- 形状 : 液体
- 色 : 黒
- 臭い : 溶剤臭
- pH値 : 情報を有していない
- 融点 : 情報を有していない
- 沸点 : 情報を有していない
- 引火点 : -4℃
- 発火点 : 370℃ (酢酸<sup>フ</sup>チル)
- 爆発限界 上限 : 11.5% (酢酸<sup>エ</sup>チル)
- 爆発限界 下限 : 0.4% (3-メチル-3-メトキシ<sup>フ</sup>チルアセテート)
- 蒸気圧 : 12452Pa (25℃) (酢酸<sup>エ</sup>チル)
- 蒸気密度 : 情報を有していない
- 密度 (比重) : 情報を有していない
- 溶解性 : 情報を有していない
- オクタノール／水分配係数 : 情報を有していない

10. 安定性及び反応

- 安定性 : 通常取り扱いでは安定している
- 避けるべき条件 : 加熱
- 混触危険性 : 特に情報を有していない
- 危険有害な分解生成物 : 燃焼の時、一酸化炭素などの有害ガスを発生する恐れがある
- その他の危険性情報 : 特になし

11. 有害性情報  
組成物質に関する有害性情報

化学物質	管理濃度	ACGIH (ppm)	ACGIH (mg/m3)	IARC
酢酸ブチル	150ppm	150		
酢酸エチル	200ppm	400	1440	
3-メチル-3-メトキシブチルアセテート				
メトキシブチルアセテート				
カーボンブラック			3.5	2B
セルロースナイトレート				
3-メチル-3-メトキシブチルアルコール				
ブチルアルコールモノメチルエーテルアセテート				
イソブチルアルコール	200 ppm	200		3

製品組成物のGHS分類による健康・環境に関する有害性情報

組成物		酢酸ブチル	酢酸エチル	3-メチル-3-メトキシブチルアセテート	メトキシブチルアセテート	カーボンブラック	セルロースナイトレート	
GHS分類								
急性毒性	経口	区分に該当しない	区分に該当しない	区分5	区分5	区分に該当しない	区分に該当しない	
	経皮	区分に該当しない	区分に該当しない	区分5		分類できない	分類できない	
	吸入・気体	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない		区分に該当しない	区分に該当しない	
	吸入・蒸気	分類できない	区分4	分類できない		分類できない	分類できない	
	吸入・粉じん・ミスト	分類できない	分類できない	分類できない		分類できない	分類できない	
皮膚腐食性・刺激性		区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない		分類できない	分類できない	
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性		区分2B	区分2B	分類できない		分類できない	分類できない	
感作性	呼吸器	分類できない	分類できない	分類できない		分類できない	分類できない	
	皮膚	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない		分類できない	分類できない	
生殖細胞変異原性		分類できない	区分に該当しない	分類できない		分類できない	分類できない	
発がん性		分類できない	分類できない	分類できない		区分2	分類できない	
生殖毒性		区分に該当しない	分類できない	分類できない		分類できない	分類できない	
健康	特定標的臓器 ／全身毒性	単回暴露	分類できない	分類できない	分類できない		分類できない	
			分類できない	分類できない	分類できない		分類できない	
			区分3	区分3	分類できない		分類できない	区分3
			(気道刺激性)呼吸器への刺激のおそれ、(麻酔作用)眠気またはめまいのおそれ	(気道刺激性)呼吸器への刺激のおそれ、(麻酔作用)眠気またはめまいのおそれ				(麻酔作用)眠気またはめまいのおそれ
			分類できない	分類できない	分類できない		区分1	分類できない
		反復暴露	—	—			長期または反復暴露による臓器(肺)の障害	—
			分類できない	分類できない	分類できない			分類できない
			—	—				—
			—	—				—
			—	—				—
誤えん有害性		分類できない	分類できない	分類できない		分類できない	分類できない	
環境	水生環境急性有害性	区分3	区分に該当しない	分類できない		区分に該当しない	区分に該当しない	
	水生環境慢性有害性	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない		分類できない	区分に該当しない	

製品組成物のGHS分類による健康・環境に関する有害性情報

組成物		3-メチル-3-オキシブタンオール	プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	イソプロピルアルコール	
GHS分類					
急性毒性	経口	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	
	経皮	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	
	吸入・気体	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	
	吸入・蒸気	分類できない	分類できない	区分に該当しない	
	吸入・粉じん・ミスト	分類できない	分類できない	分類できない	
皮膚腐食性・刺激性		区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性		区分2A	区分2B	区分2	
感受性	呼吸器	分類できない	分類できない	分類できない	
	皮膚	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	
生殖細胞変異原性		分類できない	分類できない	分類できない	
発がん性		分類できない	分類できない	分類できない	
生殖毒性		区分に該当しない	区分に該当しない	区分2	
健康	特定標的臓器 ／全身毒性	単回暴露	分類できない		区分1 (中枢神経系、腎臓、全身毒性)
			分類できない		臓器 (中枢神経系、腎臓、全身毒性) の障害
			分類できない		
			分類できない	区分3	区分3 (気道刺激性)
			分類できない	(気道刺激性) 呼吸器への刺激のおそれ、(麻酔作用) 眠気またはめまいのおそれ	呼吸器への刺激のおそれ
		反復暴露	分類できない	分類できない	区分1
				—	長期または反復暴露による臓器 (血液) の障害
			分類できない	分類できない	区分2 (血管、肝臓、脾臓)
				—	長期または反復暴露による臓器 (呼吸器、肝臓、脾臓) の障害のおそれ
誤えん有害性		分類できない	分類できない	分類できない	
環境	水生環境急性有害性	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	
	水生環境慢性有害性	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	

12. 環境影響情報

- 生体毒性 : 知見なし
- 残留性・分解性 : 知見なし
- 生態蓄積性 : 知見なし
- 土壤中の移動性 : 知見なし
- 成分の水生環境有害性情報 :  
(環境有害性物質を対象)

化学物質	水生環境有害性 (急性)	水生環境有害性 (慢性)	オゾン層への 有害性
酢酸ブチル	区分3	区分に該当しない	分類できない
酢酸エチル	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
3-メチル-3-メキシチルアセテート	分類できない	分類できない	分類できない
メキシチルアセテート			分類できない
カーボンブラック	区分に該当しない	分類できない	分類できない
セルロースナイトレート	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
3-メチル-3-メキシチルタノール	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
イソプロピルアルコール	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 :
  - ・ 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
  - ・ 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
  - ・ 排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行なうか、委託をすること。
  - ・ 廃塗料などを焼却処理をする場合には、珪藻土等に吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。
- 汚染容器及び包装 :
  - ・ 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
  - ・ 許可を受けた産業廃棄物処理業者委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

- 共通事項 :
  - ・ 取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。
  - ・ 容器の漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。
- 国内法規
  - 国連番号 : 1263
  - 指針番号 : 128
  - 陸上輸送 :
    - ・ 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる輸送方法に従うこと。
- 海上輸送 :
  - ・ 船舶安全法に定めるところに従う。
- 航空輸送 :
  - ・ 船空法に定めるところに従う。
- 国際規制
  - 国連番号 : 1263
  - 国連輸送名 : 塗料 (PAINT)
  - 国連分類 : クラス3 (引火性液体)
  - 容器等級 : 容器等級 II



15. 適用法令

- 消防法 : ▪ 消防法 第4類第一石油類 危険等級Ⅱ
- 毒劇物取締法 : ▪ 該当せず
- 労働安全衛生法 : ▪ 危険物（引火性の物）
- : ▪ 有機溶剤中毒予防規則 第2種有機溶剤等
- 船舶安全法 : ▪ 危告示 別表第6可燃性物質
- PRTR法 : ▪ 該当せず

16. その他

- コメント : ▪ 危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新たな情報を入手した場合には、追加・修正を行ない改訂致します。
- : ▪ 記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
- : ▪ 注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであって、特別な取扱いをする場合は、用途・用法および状況に適した安全対策を実施の上、取り扱いには十分に注意を願います。
- : ▪ 全ての化学製品には、未知の危険性・有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。